

# 令和6年度 葛飾区 女性のがん検診のご案内(無料)

## 子宮頸がん検診 20歳から2年に1回、問診・視診・細胞診・内診

「子宮頸がん検診の受け方」は裏面に記載。受診対象の場合に受診票を同封しています。

## 乳がん検診 40歳から2年に1回、視触診とマンモグラフィ検査の両方受診

「乳がん検診の受け方」をご確認ください。受診対象の場合に、受診票と併せて同封しています。

※ 年齢は、現年度末年齢です

### 実施医療機関一覧表 (「○」印が実施医療機関です)

実施医療機関	所在地	電話	乳	子宮	生保	予約について	
			視触診	頸			
平成立石ペンギンクリニック	立石5-7-3	03-3693-3131	○	○	○	必要	電話
とおたけ産婦人科	立石6-34-11	03-3691-0858	○	○		必要	HP
東京フェリシアレディースクリニック	立石8-9-6	03-3691-9931	○	○		必要	HP
宮川産婦人科	東四つ木4-49-10	03-3694-1020	○	○	○		不要
佐久間レディース&ファミリアクリニック	堀切2-54-16	03-3691-0371	○	○	○		不要
木下産婦人科医院	東堀切1-15-10	03-3602-7201	○	○			HP
綾瀬産婦人科・産後ケア	小菅4-8-10	03-3838-8151	○	○			電話・HP
亀有みんなのクリニック	亀有2-4-8	03-5650-2821	○	○	○		不要
亀有おおの診療所	亀有2-33-8	03-6662-2655	○	○	○		電話
亀有メディカルクリニック	亀有3-26-1 6F	03-6231-2905	○	○	○	必要	電話
ゆりあファミリークリニック	亀有3-27-27	03-3601-3131	○	○	○	必要	はなしょうぶ
亀有病院	亀有3-36-3	03-3601-0187	○	○	○		不要
東部地域病院	亀有5-14-1	03-5682-5111(代表)	マンモグラフィのみ			必要	はなしょうぶ
亀有公園前診療所	亀有5-34-12 4F	03-3606-2532	○	○	○		電話・HP
マリアレディースクリニック	青戸3-39-9 2F	03-3601-1676	○	○		必要	HP
中村医院	新小岩2-35-4	03-3654-9237	○	○			不要
新小岩北口診療所	西新小岩1-8-4 1F	03-5670-2826	○	○	○		電話
イムス東京葛飾総合病院	西新小岩4-18-1	03-5670-9901	○	○	○	必要	電話
土屋クリニック	高砂8-25-1	03-3607-2203	○	○	○		不要
雨宮医院	柴又1-43-11	03-3600-3511	○	○	○		不要
東京かつしか赤十字母子医療センター	新宿3-7-1	03-5876-3511(代表)	○	○	○	必要	専用アプリ
金町中央病院	金町1-9-1	03-3607-2001	○	○	○	必要	電話
小泉胃腸肛門乳腺クリニック	金町6-4-3 1F	03-3627-1300	○	○	○		電話
増田産婦人科	東金町1-13-5	03-3607-1519	○	○			HP
第一病院	東金町4-2-10	03-3607-0007	○	○	○	必要	電話
小沼医院	東水元2-10-2	03-3607-4008	○	○	○	必要	電話

◆生活保護受給中の方は、「生保」の欄に「○」のある医療機関でご受診ください。

◆子宮頸がん検診と乳がん視触診は実施医療機関へ直接予約(必要な場合)して受診します。

(HP=ホームページ)

◆葛飾区に住民登録のある方が対象です。

医療保険の種類に関わらず受診できますが、お勤め先などで同様の検診を受診する機会のある方は対象外です。

参考

予告なく検診内容等を変更する場合があります。最新の情報は葛飾区ホームページでご確認ください。

葛飾区 がん検診



【担当課】葛飾区健康部(保健所)健康推進課 〒125-0062 青戸 4-15-14 ☎03-3602-1268

## 子宮頸がん検診の受け方

受診期間 4月1日から  
令和7年2月末まで

### 検診の目的

子宮頸がんは、子宮の入口「頸部」にできるがんで、主に性交渉によるHPV感染が原因です。日本の女性では罹患する人が多く、20歳代後半から増加し、30～50歳代で多くなります。初期の段階では、ほとんどが無症状のため、検診による早期発見が大切です。

不正出血がある場合（月経（生理）以外に出血がある、閉経したのに出血があるなど）や、月経が不規則などの症状がある場合には、子宮頸がん以外の病気の可能性もあるので、検診ではなく、すぐに医療機関を受診してください。

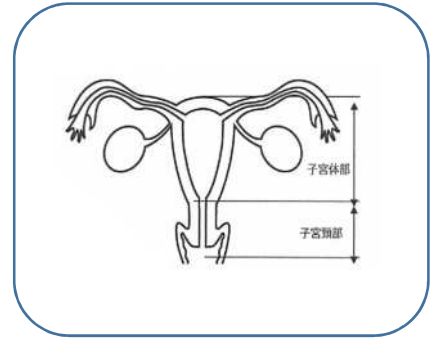
**検診内容** 問診・視診・細胞診※1・内診

**費用** 無料

**持ち物** (1) 令和6年度子宮頸がん検診受診票（太枠内記入）  
(2) 健康保険証（診察券がある方は診察券も）

**受診場所** 実施医療機関一覧表「子宮頸」に「○」の医療機関

**受診時の注意** (1) 生理中および生理直後の数日間を受診しないでください。  
(2) 前日に入浴しても膈内は洗わないでください。  
(3) 受診の2～3日前から性生活はさけてください。



**結果について** (1) 検査の結果は約2週間後に、検診医療機関でお伝えします。その際は健康保険証をお持ちください。

(2) 検診の結果、さらに精密な検査が必要な方には、検診医療機関が精密検査実施医療機関をご紹介します。必ず精密検査※2を受けてください（保険診療）。

(3) 精密検査の結果は検診医療機関に報告してください。

**その他** 検診外の検査は、検診費用（保険診療外）が別途必要となります。

不正出血があったり、ご心配な症状がある場合は、検査担当医にご相談ください。（保険診療）

\*\*\*\*\*

※1 細胞診による子宮頸がん検診は、子宮頸がんの死亡率・罹患率を減少させる効果があります。

※2 精密検査(子宮)：コルポスコープ下の組織診、HPV検査などを組み合わせたものです。（保険診療）

乳がんになる人は、30歳代から増え、50歳代までの働き盛りの世代に多くみられますが、早期発見・治療により90%以上の方が治るといわれています。

### ブレスト・アウェアネス（乳房健康チェック）のすすめ 一乳房を意識して生活する習慣一

乳房の状態に日頃から関心を持つことにより、乳房の変化に気づきやすくなります。

- 1 ご自分の乳房の状態を知る（見て、触って、感じる：乳房チェック）
- 2 早く乳房の変化（しこり、皮膚の凹みや血性の乳頭分泌など）に気づく
- 3 乳房の変化に気づいたら、すぐ医師へ相談する
- 4 40歳からは2年に1度、乳がん検診を受ける

乳房を見て、触って、感じるという気軽な気持ちで生活習慣に取り入れましょう



○がん検診で必ず「がん」を発見できるわけではありません（偽陰性）。また、「がん」がないにもかかわらず検診で「陽性」判定が出る場合もあります（偽陽性）。

○乳がん検診・子宮頸がん検診は、2年に1回、定期的を受診することが大切です。また、具体的な症状が出ている場合は、がん検診ではなく医療機関の診療を受けましょう。

○がん検診の結果が「要精密検査」となった場合は必ず精密検査を受け、結果を検診医療機関にご報告ください。